

大学の世界展開力強化事業（平成24年度選定）事後評価結果

大 学 名	東京医科歯科大学
整理番号	I-3
事 業 名	東南アジア医療・歯科医療ネットワークの構築を目指した大学間交流プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">S</div>	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
(コメント)	<p> 本事業は、医師・歯科医師の不足や学際的な取組が遅滞した結果、十分な医療・歯科医療が受けられない東南アジアの現状に鑑み、東京医科歯科大学を中心に東南アジアの4校とオセアニアの2校を加えた6校との連携により、我が国の医療・歯科医療を基盤とするネットワークを構築し、ASEAN諸国の健康向上と我が国の医歯学領域の世界展開力強化を目指す意欲的な取組として実施された事業である。 </p> <p> 事業展開では、開始時点から学生や相手大学の教員を対象とするアンケート調査を適時実施することで相手国のニーズを把握し、プログラムの改善に繋げるなど、成果に結びつく地道な努力がなされており、質の保証を伴う魅力的な大学間交流の枠組み形成では、学生の受入に際して相手大学の学部長による推薦や、派遣学生に関しては英語による語学試験等により、成績優秀な学生の選抜が厳格に行われ、充実した成果が挙げられるよう配慮がなされている。また、学生の派遣・受入のための環境整備として、各国の学生が歯学専門用語を共通で理解できるよう「5カ国語による基本歯科用語集」を作成して学生交流を活発にしたことに加え、各国教員の教育活動にも有効活用されるなど、教材作成に係る努力が認められる。交流学生数も派遣・受入ともに目標を大きく上回る実績を挙げているが、今後は単位取得を伴う受入学生の増加に向けた対策に期待したい。これまでの学術研究活動と海外交流を基盤にASEAN諸国との医・歯学交流プログラムを展開したことによって世界大学ランキングにおいて高い評価を得ていることから、本事業の継続・拡大が我が国の大学の世界展開力強化を先導的に牽引し、貢献されると期待できる。 </p> <p> 一方で、情報発信がウェブサイトや報告書の作成に留まっており、国際シンポジウムや学会の開催など、より積極的かつ効果的な発信が望まれる。 </p> <p> 最後に、歯科領域において、国際社会人大学院やアジア標準歯学教育を構築した成果を基に、今後も本事業が発展的に継続され、我が国の医療・歯科医療の国際化を牽引されていくことに期待する。 </p>